

会 議 録

日 時	令和 5 年 10 月 16 日(月)13:30～16:45	場 所	豊栄地区公民館大講堂
会議名	第 2 回水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」等指定管理者申請者評価会議		
出席者	評価委員……五十嵐隆吉、斎藤春行、加藤豊、吉川夏樹、高橋浩 事務局……北区産業振興課（担当：文化・スポーツグループ）		

公開プレゼンテーション・質疑応答

< 司会進行 > 北区産業振興課 課長補佐

・申請者（福島潟推進グループ）説明

・質疑応答

（吉川委員）OECMの登録を目指すとするが、具体的にどのような活動をするのか説明願いたい。

（申請者）現在実施している作業を整理して、明文化し、新潟市と協議して登録はできるのではないかと思います。具体的には、新潟市と協議しながら、OECMは福島潟だけでなく3潟に発展していくものと思うので、初年度はデータの収集・内容の分析をして、新潟市との打ち合わせなど事業計画を立てていきます。

（五十嵐委員）自主事業の関係で、運営協議会など外部との関り方、意見の収集についてどうされますか。

（申請者）現在、菱風荘でも地域の協議会があり参加しています。新しい指定管理事業もそういったところに参加、他館の連携、近隣の皆さんのご意見を聞いて、独りよがりにならないような自主事業を展開していきたい。特にアンテナショップについてはこれを売って、これは売らないといったことができませんので、商品の構成も含め、皆さんの声を聞きながら進めていきます。

（五十嵐委員）潟周辺の地域の方は大きな努力されてきている。地域の方との連携を図っていかねばならないと考えますが参考になるものがあればお聞かせ願いたい。

（申請者）雁晴れ協議会、連絡協議会がありますので、そこからの意見収集もありますし、立ち寄っていただければご意見等をお聞きし、情報を収集することも事業計画に記載しています。できないこともあるかと思いますが、北区、福島潟のためにご要望にお応えしていきたいと考えています。今はコロナで中止していますが、以前菱風荘で菜の花桜マラソンの実施で、開催まで新鼻自治会へ何度も足を運び、自治会のご理解、ご協力をいただきながら進めてきた経緯もありますので、今後も継続していきたいと思います。

（斎藤委員）いくとぴあなどいくつかの指定管理の実績がありますので、もし指定管理者になられれば、福島潟のまだ出してない引き出しを開けてくれるのではとワクワクしました。毎年9月23日に福島潟自然文化祭という大きなイベントがありますが、行政が事務局をやって、いろいろな市民団体が構成員になっています、運営側もビュー福島潟の管理者が行うべきではないかと思っていますが、事務局の依頼があったら受けてもらえるものでしょうか。

（申請者）外から見てみると当然ビュー福島潟が中心に動いている印象はありましたの

で、ご要望に応じてはそういったことも可能であるかなと考えています。

(高橋委員) 収支計画書について、指定管理料には消費税が入っていると思いますが支出の方に消費税がみあたらない、どちらに入っているのか教えてもらいたい。

(申請者) J Vとして考えていまして、各社で事業体の数字を取り込みながらほかの各社の事業に含め消費税を納付する考え方でいます。基本的には支出項目は税込み表示とさせていただきます。通常単体事業ですと人件費は非課税になりその分受取と支払消費税の差額を未払い消費税で計上するやり方もありますが、今回全て各社事業体が請求する関係でそこで消費税を処理するので、税込み表示とさせていただきます事業計画を上げさせていただきます。

(加藤委員) 自主事業に関連して、潟来亭で飲食の提供が示されていますが、調理する施設を新たに作る予定ですか、それとも出前等の対応となるのか。

(申請者) 自主事業で示したツアーで調理は2パターンを考えていまして、キャンプ場の水場を利用して鍋を作る、もう一つは菱風荘の調理場で作ったものを持ってきて潟来亭で食べるイメージを持っている。地元のキッチンカーを出してもらい対応することも考えられるのかと思います。

(斎藤委員) イベントの発信はのご時世紙媒体でなく、SNS、フェイスブックなど多いと思いますが、現在管理しているいくとぴあ、アグリパーク・奥只見などの発信の状況はどうなっていますか。

(申請者) アグリパークでは、すべて使っています。ホームページで公式の情報を発信し、フェイスブック、X、インスタグラムを使っています。インスタグラムは館長が「館長つれづれ」として、その日のアグリパークの様子を発信しています。LINEも登録してもらった人には月に3・4回イベントの案内をしています。いくとぴあはアグリパークと同じようにしていますが、JAとかレストランとか、かなりの発信となりますので、なんでもかんでもするのでなく、ある程度ターゲットを絞っての発信となっています。

(五十嵐委員) 名誉館長について、自然に造詣の深い著名人が理想ですが、福島潟の自然に惚れて、イベントに常に参加できる方で、PR大使になれる方を選任してもらいたいと思いますがその辺の考えを教えてください。

(申請者) 具体的にこの方というイメージはありません。指定管理者に選定されたらプロジェクトチームを作って、委員の質問にありましたとおり多方面からいろいろな意見を伺いながら人選に入っていきたいと思っています。

(加藤委員) 指定管理している施設の集客数とか実績は上がっていますか。

(申請者) コロナの関係で近年は目標数値に達していない施設が多いです。2021年から回復傾向になっていまして、現在コロナ前の90%くらい戻ってきているのが現状ですが、それを上回る施設もあります。

(吉川委員) 申請書の立て付け上、万遍なく書かなければならないことは分かりますが、とりわけここだけは採択された場合、ここは力を入れて、軸足を置いて伸ばしていきたいと思うところを教えてください。

(申請者) 一番大事にしていきたいところは、情報発信です。賑わいを作るということで、福島潟に来場者を増やすことをしていきたい。賑わいの創設を初年度は力を入れてやっていきたい。

(吉川委員) いくつかの指定管理を行っているのですが、そういった施設と連携を進めていくというところに力を入れていくつもりはありますか。

(申請者) 新潟市ではいくとぴあ、アグリパークなどの外、体育スポーツ施設を管理していますのでそういった施設にチラシを置くことは当然のことですし、イベントの時は応援体制が取れる状況です。奥只見では自然活動のアウトリーチ活動と

して出かけて行って自然活動の啓発を行う事業もしていますので、そのスタッフが福島潟で活動の連携も可能と思います。

(了)

・申請者（福島潟みらい連合）説明

・質疑応答

(五十嵐委員) 雁迎灯、福島潟自然文化祭を自主事業として、Youtube, SNSを活用してインパクトのある事業にしてもらいたいが計画はありますか。

(申請者) 雁迎灯は昨年度 Youtube でライブ配信しまして、視聴者が650人程ありました。LED化に際し、潟文化の森が暗いので、そこに光の広がりを持たせてはと思っていますし、雁迎灯を新潟の3大イルミネーションのひとつにしていきたい。

(五十嵐委員) 自主事業としてあげることは考えていませんか。

(申請者) 今お話ししたことが自主事業です。

(高橋委員) 現状の課題として入場者数のばらつきについて認識されていますが、冬に何らかのことを考えていましたら教えてください。

(申請者) 10月～2月はオオヒシクイ、ハクチョウの飛来が多くなりまして、職員はそちらの対応が主になっていまして、冬場はなかなか人が動かなく、これまではシンポジウムの開催などしていますが、インパクトが出ない。冬の楽しみは考えています。例えば、円形広場でソリを使った屋外での遊びを提供する。

(吉川委員) 今までの経験から良いと思うところは、全部万遍なく充実させるのではなく、縮小、廃止せざるを得ない事業もあって、スクラップアンドビルドの考えで限られた予算の中でより効果のある事業に注力していこうとする姿勢が申請書の中から読み取れます。充実化、効率化と書かれていますがどのような基準で設定されているのかももう少し詳しく教えてもらいたい。

(申請者) 入館のバランスが取れるものについて、クイクイなど使っての可能性が感じられるもの、区が期待するものを充実化させ、関係団体との活動も考えています。縮小、効率化については、例えば旧豊栄市からオオヒシクイの飛来日の当てることなど、ほかでもできるもの、子どもの参加する雁ばり隊は大勢だと効果が上がり参加者を絞って実施します。

(吉川委員) 冬場のイベントで今キャンプがブームとなっていますが、意図的に渡り鳥の影響を考えてやらないのか、雪の中焚火を囲んで暖まるコーヒーを飲むのも魅力的と思うがその辺について教えてもらいたい。

(申請者) 冬場のキャンプは11月～2月閉鎖しています。理由の一つに夜間管理人がいない、気温の変化、大雪になった場合の即応体制がとれない。また、足場が悪く冬場はぐちゃぐちゃしている。

(斎藤委員) 福島潟の魅力の発信することが大事と思いますが、その中で、福島潟自然文化祭がありますが、今回LEDにして1週間延長して実施しましたが、夜の業務をみらい連合さん以外の方が行っていました、みらい連合さんがやるべきではないか。もう一つ、イベント等はやっておられますが、玄人向けの内容で、例えば野鳥の好きな人のイベントが多く、野鳥の好きでない人には興味がない、野鳥のすばらしさを知ってもらいたいイベントを工夫して、食を絡めるなどすれば来てもらえるので、私の感想です。いろんなイベントを考えておられるようですがもっと早く打ち出しても良かったのではないかと。

(申請者) 仕様書に自然文化祭が入っていないので、職員を働かせることがないことが前

提で超勤を出すことも可能ですが、決められた予算の中で出すのは難しいのでご理解いただきたい。今年度については、事務局として待機はしていましたが、各フロアの対応は地元の皆さんに対応していただき感謝しています。昨日「潟ごはんの会」数年ぶりに活動され、朝に鳥を鑑賞し、食事をしていましたが、「潟さんぽ」のイベントに食を入れるのも有りだなと思います。

(加藤委員) 環境保全活動で引き続きクリーン作戦、ヨシ焼きに協力いただきたい。自然情報の収集で、福島潟のみならず北区にある十二潟など保全活動を行っている団体とも連携しながら、ビュー福島潟が中心的役割を担っていくようお願いしたい。築堤工事では数年後終了するが、全部舗装になるかは分からないが、潟の魅力を発してもらいたい。

(申請者) 小さい潟にも活躍され、想いを寄せている方が大勢いらっしゃることを認識しています。北区の拠点としてビュー福島潟が取りまとめて行くべきだろうと思いました。築堤について、現在も名誉館長さんと潟を一周する歩くイベントをやりながら、こんなこともできればいいなと機運づくりを進めているところで。駅伝の皆さんやスポーツ系の方との連携も図られればと思います。

(了)